


平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 1	中原区民総ぐるみスポーツ大会	継続	S 5 0	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区民総ぐるみスポーツ大会実施委員会	対象者	区内在住の小学生男女及び成年女性	当初予定事業 緊急対応事業		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局・事業内容	なし			
目的及び内容	<p>スポーツ大会を区民との協働により、誰もが参加できるスポーツ大会を実施することにより、地域におけるスポーツの振興・発展、区民の健康増進、区民相互の親睦を深めるとともに健康で明るくすみやすいまちづくりを推進することを目的とする。</p> <p>等々力緑地催し物広場において、中原区内の小学生男子・女子、成年女性の3部門のドッジボール大会と自由参加制のスポーツラリーを開催する。</p>					
予算額	750,000 (円)	決算額	750,000 (円)	不用額 0 (円)		
不用の理由						
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(大会当日 開会式の様子)</p>	<p>等々力緑地催し物広場で開催した大会では、ドッジボールやスポーツラリーを通じて参加した子供から大人まで世代を超えた交流を深めることができた。</p> <p>また、運営は各団体(区子ども会役員・青少年指導員・体育指導委員等の方々)メンバーによる実行委員会形式で行い、スポーツ大会を通じて各団体間の交流を深めることができ、親睦にもつながった。</p>	実施時期 (開催日/回数等)	平成20年10月 開催(年1回開催)	参加人数等	約1,000名 (スポーツラリー含)

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>業務委託先である中原区民総ぐるみスポーツ大会実施委員会は、地域の町内会・子ども会・青少年指導員会・体育指導委員会等の各種団体で構成される団体である。そのため、参加者も気軽に参加できる大会であり、地域と密着した形で大会を実施することができ、運営側・参加者共に交流を図ることができた。</p> <p>また、恒例の大会となっており、毎年約1,000名の区民が参加するイベントとなっているため、区民の参加意欲も高く、区民の健康増進ならびに区民相互の親睦を深めることもできたことから、おおむね目標は達成できた。</p> <p>また、新たな試みとして、アメリカンフットボールをゲーム感覚で楽しめるアトラクションを設置し、スポーツラリーの参加者にも好評を得ることができた。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	運営については、町会・子ども会・青少年指導員会・体育指導委員会等の各種団体に協力を得ながら行っており、今後も同様に協力を得ながら効率的に運営を行う必要がある。大会に、より多くの参加者に来てもらうため、区内の各町会掲示板や回覧板・区HPにて今後も広報をする必要がある。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

もっと多くの人に参加できる事業になればと思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 2	中原区体育及びスポーツ振興事業（区長杯贈呈事業）	継続	H 2	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課		対象者	主に区内において体育及びスポーツを実施する団体		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（ ）		関連事業局 ・事業内容	なし		
目的及び内容	区民の健康増進と相互の親睦を深めるとともに、スポーツの振興発展を目指し、明るく住み良いまちづくりの推進を図ると認められる実施団体に対し、中原区長杯を製作・贈呈する。					
予算額	400,000(円)	決算額	249,228(円)	不用額	150,772(円)	
不用の理由	各賞の単価を下げたため。20年度開催予定の大会(1大会)が諸事情により中止になったため。					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		平成20年度は、計19のスポーツ大会に32個の区長杯を贈呈した。区長杯製作・配布事業は事業開始から18年が経過し、区民にも区長杯事業は浸透してきている。団体からは、区長杯を贈呈したことによって大会が盛り上がったとの声を数多くいただいた。			
	中原区中学生卓球大会表彰式から		実施時期 (開催日/回数等)	通年 (年約20回)	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>区長杯を贈呈したスポーツ大会などでは、参加者の動機付けとなり、区民相互の親睦を深められたとともに大会の活性化を促進したことから、おおむね目標は達成できた。</p> <p>区内の特定の地域だけでなく、区全体の大会に対して区長杯を贈呈することで、区民の健康増進と相互の親睦を深めるといふ、区長杯事業の目的が地域に浸透した。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	区長杯は、特定の地域におけるスポーツレクリエーション行事に贈呈するのではなく、区全域における行事に贈呈している。区長杯に対するニーズは高いので、今後も新規に区長杯の贈呈を依頼してくる団体も考えられる。区長杯を贈呈することにより各スポーツ行事を活性化することができ、今後も事業を継続していくことは必要だと思われる。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


参加者の励みにもなり、良い事業だと思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-3	中原区民多摩川ロードレース「マイペース」大会	継続	S48	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区民多摩川ロードレース「マイペース」大会実施委員会		対象者	区内在住・在勤の小学生高学年以上の男女		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容	なし			
目的及び内容	健康増進スポーツとして、多くの市民に親しまれている「ランニング」を通じて、健康ランニングの普及と区民の健康増進を図ることを目的とする。 小学生高学年男女3kmの部、中学生以上5kmの部、中学生以上10kmの部以上の3部門を多摩川ハーフマラソンコースで開催する。					
予算額	400,000(円)	決算額	400,000(円)	不用額	0(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		大会当日は、568名(昨年451名)の区民が参加し、区民の健康増進に資することができた。一般女子5km部門を除く、他の部門は昨年より大幅に参加者が増加している。			
	マイペース大会スタート時点の様子		実施時期 (開催日/回数等)	平成20年12月実施 (年1回実施)	参加 人数等	568名

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
昭和48年から続いているこの大会は、毎年参加している区民も多く、恒例の大会となっている。また、幅広い年代の方が参加しており区民の大会に対するニーズは高い。 参加者は年々増加傾向にあり、予算調整にも気を配る必要がある。 また、近年、健康に対する注目度も高く、その中で健康増進スポーツとして多くの区民に親しまれている「ランニング」を題材としているため、参加者にとって目標としている人も多い。幅広い年齢層にも人気、関心があり、今後も区民の健康スポーツの発展には重要な事業といえる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	趣味及び健康のためにランニングを行なっている区民は多く、参加者数は毎年大幅に増加しており、区民の大会に対するニーズが高いため、今後も事業を継続する必要があると思われる。運営については、町内会・体育指導委員・青少年指導員・子ども会・交通指導員等の協力を得ながら行なっており、今後も、これまで同様に各団体の役員の協力を得ながら効率的に運営を行なう。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 4	中原区青少年吹奏楽コンサート	継続	H 2	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区青少年吹奏楽コンサート実行委員会		対象者	中原区内全中・高等学校吹奏楽部、ゲスト		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	音楽を通じ、情操豊かで創造性溢れる青少年の育成を図り、校外生活の善導に資するとともに、「音楽のまち・かわさき」を区において推進することを目的として、中原区内の中学校・高等学校吹奏楽部を対象として吹奏楽コンサートを開催している。					
予算額	2,100,000(円)	決算額	2,051,317(円)	不用額	48,683(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		<p>青少年に日頃の練習の成果を発表する場を提供することができた。順位を競うコンクールとは違い、演奏技術や形式だけではなく、衣装、振り付けなど、それぞれの学校が趣向を凝らした演奏を地域の方々に披露した。</p> <p>また、スタッフに中・高校生を加え、実行委員と一緒にコンサートを運営した。</p> <p>各校から有志を集い総勢85名で実施した合同演奏では、世代を問わず誰もが知っているポピュラーな曲を選択し、会場を盛り上げると同時に、各校の吹奏楽部員間の交流を深めることができた。</p>			
	(演奏の様子)		実施時期 (開催日/回数等)	11月3日(月) 文化の日	参加 人数等	約1,500名

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>業務委託先である実行委員会は、今年で第19回という実績からノウハウの蓄積もあり、効率の良い運営ができています。当日は生徒をスタッフとして加えており、実行委員として運営に参加することにより、青少年にボランティア精神の醸成、社会勉強の場を提供する貴重な機会となっている。</p> <p>また、気軽に音楽が楽しめる場の提供となっているため、アンケート回答者のうち約4割がリピーターであり、毎年楽しみにしている区民は多く、生徒の間でも「青少年」の愛称で親しまれていることから、音楽を通じた地域の活性化に貢献していると考えられる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	音楽を活用した地域の活性化を推進し、区民へのさらなる浸透を目指し今後も継続して事業を実施していく。内容については、アンケート結果を確認し、区民や生徒の意見を正確に把握し、事業に反映させていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


青少年の健全な育成のためにも良い事業だと思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 5	中原区役所コンサート事業	継続	H 5	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所地域振興課		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	<p>ランチタイムにクラシックやジャズ等の音楽を気軽に楽しんでもらい、親しまれる区役所を目指すとともに「音楽のまち・かわさき」の推進をする。</p> <p>開催時には保育ボランティアによる幼児の一時保育を実施し、普段気軽にコンサート会場に足を運べない客層にも幅広く来場を呼びかける。</p>					
予算額	1,896,000(円)	決算額	1,893,560(円)	不用額	2,440(円)	
不用の理由						
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>12月に開催したコンサートの様子</p>		<p>中原区役所5階会議室で、5月、6月、8月、10月、12月、3月の計6回ランチタイムコンサートを開催した。</p> <p>ジャズ等のコンサートでは民族音楽、タンゴ、ゴスペル音楽などを実施し、クラシックのコンサートでは室内管弦楽団の演奏や音楽学校の生徒による合唱などを実施するなど、幅広い音楽を提供した。</p> <p>また、今後のコンサート形態や提供する音楽について検討するため、3月のコンサート時には来場者によるアンケート調査を実施した。</p>			
	実施時期 (開催日/回数等)	年6回	参加 人数等	毎回300人程度		

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>中原区役所コンサートは、「音楽のまち・かわさき」をうたう市の取り組みに寄与する事業である。また、アンケート調査等で、多くの観客がリピーターであることや遠くから足を運ぶ観客もいることが判明しており、当事業自体が広く浸透していることが分かる。予約不要の無料コンサートであることや、幼児の一時保育を受け付けていることは、幅広い客層に音楽を提供するという目的を推進している。</p> <p>コンサート形態の検討をするためアンケート調査を行い、土日開催へのニーズなど来場者の意見を把握し、次年度以降の開催に反映するよう努めた。</p>
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	アンケート結果等による来場者の声と、区が主催する公共事業であるという双方の視点から今後の実施形態について、時間帯の変更、開催場所の変更などを実験的に実施していく。特に21年度に100回記念を迎えることもあり、土曜日開催を実施する。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


各回参加者も大変多く、区民から支持されているのだと思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 6	中原区音楽ライブ事業	継続	H 1 1	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区音楽ライブ実行委員会	対象者	区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	<p>「音楽のまち・かわさき」推進を目的として、中原区において、アマチュアバンドやダンスユニットが大舞台で日頃の活動の成果を発表し、音楽を通じて幅広い年齢層の人々が交流することを目的として区民の手作りによる音楽ライブを開催する。</p> <p>3月の本番 In Unity2009 と、その公開オーディションであり、より区民に気軽に音楽に親しんでもらうことを目的として NAKAHARA MUSIC FES を開催する。</p>			
予算額	1,800,000(円)	決算額	1,799,959(円)	不用額 41(円)
不用の理由				
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(In Unity2009)</p>	<p>NAKAHARA MUSIC FES を、区民祭に合わせて10月に市民ミュージアム前で1回、11月に会館とどろきで1回行った。また、エポックなかはらで3月に10回目の節目である In Unity2009 を事業開始以来初めて2日間にわたり開催した。</p> <p>In Unity2009 のホームページへの掲載、マスコミへの宣伝、成人の集いでPRを行い、出演者を集めてのビデオ撮影会、フラッグ・チラシの作成等全て手作りの音楽ライブを開催した。</p>		
		実施時期 (開催日/回数等)	10月19日、11月22日、3月7、8日	参加人数等 約1,000人 (3月7、8日)

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>本事業は、区内の若者で組織される実行委員会が主体的に企画運営に携わり、市民活動としては珍しい若い世代との協働という意味で有意義である。かつ、NAKAHARA MUSIC FES は、2回目を、普段発表の機会が少ない高校生に限定して開催し、参加を契機に今後の委員会活動への積極的な関与につなげる試みを実施した。また、In Unity は開催10年目に当たり、事業開始以来初の2日間開催や、一般公募区民100人によるゴスペルコーラスを行うなど、区民の交流の場を広げる事ができた。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	次年度以降は、若年層への市民活動の入り口的な取り組みを推進する一方で、より地域に根ざし、高齢者も含めた多くの区民に参加してもらえる音楽ライブとなるような運営を心掛けていく。	B

区民会議からの主な意見


高齢者も楽しめる音楽祭を目指し、検討して頂きたいと思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 7	中原街道時代まつり支援事業（放鷹術実演）	継続	H19	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原街道時代まつり実行委員会	対象者	一般区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（ ）	関連事業局 ・事業内容	市民ミュージアム（教育委員会）	
目的及び内容	中原区の区名の由来とされる中原街道の歴史・文化を通じて、区民の郷土意識の向上を図ることを目的に開催される「中原街道時代まつり」の一部アトラクション（放鷹術実演）を協働推進事業として、イベント実施することで支援する。			
予算額	400,000(円)	決算額	400,000(円)	不用額 0(円)
不用の理由				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  （実演終了後の触れ合いの様子）		当日の天候が直前まで雨模様であったため、来場者数については例年より少なかったが、観客が会場（陸上練習場）を取り囲み、鷹が獲物を獲る実演を見ることができ、またイベント終了後には鷹師が来場者の近くまで行って、普段接することの出来ない貴重な鷹を見せるなど、観客に対して伝統文化の良い体験機会となった。	
	実施時期 （開催日/回数等）	5月25日 1回	参加 人数等	鷹狩りのみ 300人

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）
「中原街道時代まつり」は、非常に多くの観客が訪れる知名度の高いイベントである。その中で、伝統文化としての放鷹術の実演は、小杉御殿や小杉陣屋などの地名に残る中原街道の歴史として、当時の「将軍のお鷹狩り」を連想させ、新しく転入してこられた区民への魅力発信や先人の歴史や街道筋の生い立ちに触れる格好の機会となっている。 当日行われた放鷹術は、諏訪流放鷹術保存会により実演される日本でも数少ないイベントであり、希少価値の高いものであった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	鷹の実演という文化的な機会としては成果を得られているが、カラスの繁殖期との兼ね合いなど、開催時期の再考をすると共に時代まつり以外での開催の検討を主催者と調整していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

鷹狩りの内容、やり方に工夫・検討の余地があるように思いました。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 8	中原街道歴史シンポジウム事業	継続	H15	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	NPO 法人日本伝統文化福祉振興協会		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ()	関連事業局 ・事業内容	なし			
目的及び内容	川崎、東京、平塚の郷土史研究家や歴史学者らと交えて中原街道の歴史についてのシンポジウムを開催し、徳川幕府の重要な流通路としての役割を果たしていた中原街道の歴史を再考することにより、区民の郷土意識を醸成することを目的とする。 構成内容は学識経験者による基調講演とパネルディスカッション及びアトラクションを実施する。					
予算額	700,000(円)	決算額	700,000(円)	不用額	0(円)	
不用の理由						
結果・成果			中原市民館大ホールにて、[川崎市域の歴史を語る文化財]をテーマとして「市民のための文化財保護」の基調講演に始まり、4名の大学教授や専門分野の研究者をパネリストとした講義を開催した。また、アトラクションとしてNHKの大ドラマ「篤姫」を題材にした着付けの実演を披露し、身分や地位などの違いで着付けが変わるとの説明があり、シンポジウムと違った視点で歴史考察を行い、来場者には好評であった。			
	(4名のパネリスト)		実施時期 (開催日/回数等)	9月27日 1回	参加 人数等	250名

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 再開発等が進み新しい建物が増えている中原区にあって、小杉御殿町及び小杉陣屋町の中原街道沿いは江戸時代の街道筋のたたずまいを一部残しており、シンポジウムにおいて中原区に関わる歴史について当時の暮らしや社会情勢・時代背景を学ぶことは郷土意識の醸成に寄与する地域に密着した事業といえる。 毎年テーマを変え開催し、今年度は現存する文化財や史跡を学ぶ機会となった。 専門家を講師に招くことにより、普段見慣れた風景や建物の歴史が再認識される新たな発見の場となると共にアトラクションを通じて楽しく江戸文化の紹介がなされ、中原区の魅力発信にも繋がっている。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	シンポジウムについては、パネリストや講師選びに工夫をすることにより内容に変化をもたせ、幅広い層に向けた歴史紹介の場としていく。 また、時代まつり支援(放鷹術の実演)と連携した開催など、新たな取り組みを考えていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


もっと多くの区民の参加があると良いと思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 9	歴史と緑の散策コース案内板設置事業	継続	H19	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所		対象者	区 民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ()	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	<p>平成18年度の協働推進事業で作成した「なかはら歴史と緑の散策マップ」の活用を図るため、散歩マップに掲載されたコースを中心に区内の名所や史跡を巡る際の道標となる案内板を主要駅周辺などに設置する。</p> <p>3年計画で散歩マップに記載した全コースの案内板の設置を目指す。2年目にあたる20年度はJR向河原駅、JR武蔵中原駅、東急新丸子駅の区内3駅に設置を行う。</p>					
予算額	1,208,000(円)	決算額	1,207,500(円)	不用額	500(円)	
不用の理由						
結果・成果			<p>19年度設置したJR武蔵新城駅、JR平間駅に続き、新たに東急電鉄とも調整をし、今年度はJR向河原駅、JR武蔵中原駅、東急新丸子駅の3駅に設置した。</p> <p>設置に当たっては、元マップの作成に寄与した「なかはら20年構想委員会」と検討した。可能な限り駅利用者の目に触れる場所を候補にして鉄道事業者と交渉したほか、デザインについても設置場所のスペースを考慮し、見やすさと実用性を兼ねるよう工夫をした。</p>			
	散策案内板の写真		実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>再開発で住民が増えている中原区において、中原区の地域資源である旧所・名跡を散歩マップと案内板の両方により多くの区民の目に触れることは重要である。</p> <p>「より多くの人に見てもらう」、「地元の人だけでなく、電車から降りた人にもコースを歩いてもらう」を目指して、駅に設置したことは効果的であり、なるべく目に触れる設置場所の選定に当たり、鉄道事業者の理解を得られたことは残り案内板の設置を考えた上でも有意義であった。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	コース内への道標に関しては、予算、設置場所等の関係もあり設置を行う事が出来なかった。次年度の事業として区内の残りの駅に設置をする際には、設置場所、記載内容について、周辺住民の要望や他の公共機関への案内等も勘案する。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


区内の散策に役立つので良い事業だと思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 10	区役所庁舎内飾花事業	新規	H11	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区文化協会		対象者	来庁者	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	殺風景になりがちな、区役所において、1階ロビーの待合スペースに生け花を展示し、親しみやすい区役所づくを進める。 生け花は、年間を通じて週替りで展示する。				
予算額	300,000(円)	決算額	300,000(円)	不用額	0(円)
不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		毎週月曜日に生けて金曜日に撤去するという形で、週単位で異なる生け花を生けている。委託先である中原区文化協会の華道部が毎回趣向を凝らした作品を展示しており、斬新かつ質の高い花が展示されている。 また、季節によって生ける花の種類や彩りが変わることで、フロアに季節感を与えている。		
	(区役所1階区民課6番窓口前)		実施時期 (開催日/回数等)	通年(毎週交代)	参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 多くの区民が訪れる区役所庁舎1階の待合スペースに、季節感のある新しい花を毎週生けることは、来庁者にやすらぎを与え、親しみやすい雰囲気作りをすることができる点で有意義である。 また、来庁者の中には、区民課への届出と共に花を背景に写真に撮る人も見られるなど、本事業は成果を挙げていると考える。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	本事業は上記のような成果が見られることから、今後は区役所サービス向上に関する事業と連携する等、各階への拡がりを含めて検討していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

もっと目立つ場所への設置を検討して欲しいと思います。